社会福祉系学会連合ニュース（2020 年 3 月号）

1．ご挨拶

木原　活信（日本社会福祉系学会連合会長）

このたびの世界中に拡がった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、日本国内でも感染の拡大が続いております。この猛威によって、我々が計画していた 3 月の公開研究会「多様性時代における研究支援と学会のあり方」の中止を余儀なくされました。そもそもこれは秋の大分大学で開催予定であったものですが、九州を襲った台風により延期を余儀なくされ、このたび満を持して改めて企画したものでしたが、今回の感染症拡大のアクシデントに見舞われて結局中止となりました。基調講演ご予定いただいた中根成寿先生、準備にあたられました方々におかれましては、このようなことになり申し訳なく思います。感染防止の観点からすれば、大変残念に思いますが、やむを得ない措置であったと思います。

さて、早いもので、この 5 月で、2 年間の任期を終わろうとしています。運営委員会の諸先生方のご協力に対して、厚く御礼を申し上げます。本連合は、22 の社会福祉系学会、諸団体にて組織化されています。ご存じのように、本連合の主な活動は、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会活動への協力、社会福祉系学会の交流と連携等です。その交流や連携の具体的活動としての公開研究会を実施してきました。

また災害に関しましては、継続して社会福祉学研究の観点から取り組んでいるところですが、東日本震災の被災者・被災地への関心を持ち続けるためにも、2013 年以来蓄積してきた「災害福祉アーカイブ」充実をめざし、今後も引き続き情報を収集できればと思います。今後とも、災害福祉に関する文献刊行の際にはぜひ事務局にお知らせ下さい。随時、ホームページで公開していきます。

また、昨年度から加盟学会の活性化を目的とした「補助金制度」を創設しました。この制度は、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する制度です。ぜひ本ニュースレターの巻末のご案内、および当会ホームページ「補助金制度要項」をご覧下さい。http://jaswas.wdc-jp.com/about/docs/subsidy_yoko.pdf

最後に、加盟学会の研究活動について、とりわけ加盟学会の年次大会、研究会等の日時を早期にお知らせいただくことで、当会は加盟学会の活動に寄与し続けることになります。加盟学会の活動が社会福祉系研究の意義と魅力に相乗効果をもたらすような役割を果たしたいと考えております。加盟学会の多くの会員の皆様にぜひ本連合の活動について紹介と参加をしていただくためにも、今後とも本ニュースをご活用下さい。

コロナウイルス感染症の終息を心より願い、加盟学会のますますのご発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

****

2．　多様性時代における学会による合理的配慮と支援に関する実態調査について

本連合では 2019 年 7 月から 8 月にかけて加盟学会 22 団体に対し、多様なニーズを持つ参加者に対する合理的配慮及び支援に関する実態について、アンケート調査を実施いたしました。

その結果を本ニュースレターの巻末に掲載いたしますので、是非ご確認をいただけますと幸いです。

****

3. 加盟学会の 2020 年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の 2020 年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合の HP に掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

学会名	大会情報
社会事業史学会	社会事業史学会第 48 回大会 大会日程:2020 年 5 月 9 日(土)-10 日(日) 開催場所:山口県立大学(山口県) テーマ: 社会事業史研究の“独自性”再考
日本介護福祉学会	第 28 回日本介護福祉学会大会 大会日程:2020 年 10 月 31 日(土)-11 月 1 日(日) 開催場所:日本福祉大学半田キャンパス(愛知県) テーマ: 未定
日本家族療法学会	一般社団法人日本家族療法学会 第 37 回大会 大会日程:2020 年 9 月 4 日(金)-9 月 6 日(日) 開催会場:東京大学本郷キャンパス(東京都) テーマ: Over the Rainbow —ダイバーシティ・つなぐ・未来—
日本看護福祉学会	第 33 回日本看護福祉学会学術大会 大会日程:2020 年 7 月 11 日(土)-12 日(日) 開催会場:関西福祉大学(兵庫県) テーマ: 人間関係の和で紡ぐ看護福祉 —看護の心、福祉の心、皆の心の羅針盤—
日本キリスト教社会福祉学会	日本キリスト教社会福祉学会 第 61 回大会 大会日程: 2020 年 6 月 26 日(金)-6 月 27 日(土) 開催場所: 日本キリスト教団 神戸栄光教会(兵庫県) テーマ: 危機の中にあるキリスト教社会福祉 —この時代の新たな使命と希望—
日本子ども家庭福祉学会	第 21 回 日本子ども家庭福祉学会全国大会 大会日程:2020 年 6 月 6 日(土)-7 日(日) 開催場所:東洋大学 白山キャンパス(東京都) テーマ: インクルージョンの現在と未来(仮)
日本在宅ケア学会	第 25 回日本在宅ケア学会学術集会 大会日程:2020 年 6 月 27 日(土)-28 日(日) 開催場所:高知市文化プラザ かるぽーと・高知県(高知県) テーマ: ライフ・デザインと多職種協働 ～主体的選択を地域で支える仕組みづくりに向けて～
日本社会福祉学会	日本社会福祉学会第 68 回春季大会 大会日程:2020 年 5 月 31 日(日) 開催場所:大妻女子大学(東京都) テーマ: 社会福祉人材—社会福祉の Redesign による可能性—
	日本社会福祉学会第 68 回秋季大会 大会日程:2020 年 9 月 12 日(土)-13 日(日) 開催場所:東北福祉大学 国見キャンパス(宮城県) テーマ: 死から生を見つめる福祉

日本司法福祉学会	日本司法福祉学会第 21 回全国大会 大会日程:2020 年 9 月 26 日(土)-27 日(日) 開催場所:花園大学(京都) テーマ: 未定
日本社会福祉教育学会	詳細は HP をご覧ください→http://www.jsswe.org/
日本社会分析学会	詳細は HP をご覧ください→http://jsasa.org/index.cgi
日本職業リハビリテーション学会	日本職業リハビリテーション学会第 48 回愛知大会 大会日程:2020 年 8 月 28 日(金)-8 月 29 日(土) 開催場所:愛知県立大学(愛知県) テーマ: 未定
日本精神障害者リハビリテーション学会	日本精神障害者リハビリテーション学会第 28 回名古屋大会 大会日程:2020 年 11 月 21 日(土)-23 日(月・祝) 開催場所:愛知県名古屋市近辺予定 テーマ: 異障害コミュニケーション
日本ソーシャルワーク学会	日本ソーシャルワーク学会第 37 回大会 大会日程:2020 年 7 月 4 日(土)-5 日(日) 開催場所:鹿児島国際大学(鹿児島県) テーマ: ソーシャルワーク―地域・文化固有の知を基盤として―
日本地域福祉学会	日本地域福祉学会第 34 回大会(兵庫・西宮大会) 大会日程:2020 年 6 月 13 日(土)-14 日(日) 開催場所:武庫川女子大学(兵庫県) テーマ: 住民主体の理論と実践に立ち返る―地域福祉の政策課の時代における地域福祉の不可避性と可能性を探る―
日本福祉介護情報学会	詳細は HP をご覧ください→http://jissi.jp/
日本福祉教育・ボランティア学習学会	日本福祉教育・ボランティア学習学会 第 26 回全国大会 大会日程:2020 年 11 月 28 日(土)-29 日(日) 開催場所:大阪教育大学(大阪府大阪市) テーマ: 未定
日本福祉文化学会	詳細は HP をご覧ください→http://fukushibunka.hippy.jp/
日本仏教社会福祉学会	詳細は HP をご覧ください→http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/
日本保育ソーシャルワーク学会	日本保育ソーシャルワーク学会第 7 回大会 大会日程:2020 年 9 月 11 日(金)-13 日(日) 開催場所:豊橋創造大学(愛知県) テーマ: 無償化・インクルーシブ時代の保育とソーシャルワーク(仮)
日本保健医療社会福祉学会	日本保健医療社会福祉学会大会 大会日程:2020 年 9 月 19 日(土)-9 月 20 日(日) 開催場所:同志社大学(京都府) テーマ: 地域包括ケアの時代を迎えて 第 2 弾 実践知から語る 制度・政策とソーシャルワーカー ～公平、裁量、対峙、協働～
日本保健福祉学会	第 33 回日本保健福祉学会学術集会 大会日程:2020 年 10 月 31 日(土) 開催場所:武蔵野大学有明キャンパス(東京都) 大会テーマ:生きづらさを抱える人たちを支える保健福祉学

※上記は 2020 年 3 月段階の情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大等により、予定が変更となる可能性がございますので、詳細は随時各学会 HP をご覧ください。

****

4.　加盟学会紹介（日本福祉文化学会）

社会福祉系学会連合には、現在 22 の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、日本福祉文化学会について紹介していただきます。

●日本福祉文化学会●

永山　誠（日本福祉文化学会）

（1）日本福祉文化学会の創設は、福祉が生きることへの包括的・文化的視点が薄れつつあることへの危惧から 1989 年に一番ケ瀬康子先生（故人）らの提案によります。1980 年代「福祉研究の危機」意識が広まるなかで、福祉のゆがみを文化の視点で見直し、改善する実践を指向した。カルチュラル・スタディーズのイメージが参考になるかもしれません。

創立 31 年目の全国大会＜沖縄＞は本年 11 月 27 日（土）、28 日（日）の開催です。沖縄の歴史、文化、女性、生活をふまえたシンポジウム、現場セミナー、研究プロジェクト報告等が予定されています。後日、学会 HP でご確認ください。通常、ブロックごとに文化としての福祉実践を発表する現場セミナー、研究会、シンポ等を企画・開催しています。発表の手段は研究誌、書籍刊行、HP 福祉文化批評等です。本年度からブックレット刊行、投稿論文作成支援、添削指導を試行予定です。

（2）何をめざす学会か、とよく聞かれます。福祉文化が造語だからでしょう。まず「福祉」とは何かです。誰もが必ず考えますが、福祉概念は類型的にいえば二つある。「生存権にもとづく社会福祉」と、1970 年代以降の「政策側の新たな概念」です。公的な福祉概念をチェックせず、一気に調査や政策研究、実践に精力を注ぐのが普通です。気持ちはわかりますが、将来これでうまくやっていけるのか一抹の不安をおぼえます。

福祉概念の研究業績をみると 1974 年日経調桜田委員会報告書『福祉とは何か』で新たな福祉概念（＝価値福祉）が提示される。これを念頭に 21 世紀型地域福祉（社会福祉法制）の基礎となる東京都地域福祉計画等検討委員会報告書（1988-89）が策定される。これをフォローすれば福祉理解の平衡感覚がいくらか取り戻せるかと思います。

次に「福祉文化」という用語です。1989 年は日本福祉文化学会の創立、そして福祉文化の用語が公文書で初めて使われた年です。「福祉文化」は実は双子です。ご存知のように 21 世紀の公的な「福祉＝地域福祉」は地域の個性ある文化の創造、すなわち福祉文化の創造が政策目標です。意識するしないにかかわらず、地域に公的「福祉文化」が築かれる。新たな価値体系を地域社会に築く文化運動といってもよい。「福祉文化」は 21 世紀福祉のキー概念といえます。本学会の研究対象を私はこう説明しています。

（3）公的な福祉の概念を理解すれば福祉文化の意味もわかるし、地域共生社会の研究も当然このプロセスが大事になるかと思います。「福祉文化」は私たち共通の用語です。21 世紀の福祉の研究と実践は、公的な福祉や福祉文化を＜価値鏡＞として自らの研究を進めることが、研究や実践の効率化の一つの方法かと思います。本学会はこのような課題を抱えながら苦労を重ねています。

日本福祉文化学会ホームページ
http://fukushibunka.hippy.jp/

****

5. 加盟学会一覧

社会事業史学会　日本保健医療社会福祉学会　日本介護福祉学会　日本家族療法学会
日本看護福祉学会　日本キリスト教社会福祉学会　日本子ども家庭福祉学会
日本在宅ケア学会　日本司法福祉学会　日本社会福祉学会　日本社会福祉教育学会
日本社会分析学会　日本職業リハビリテーション学会　日本精神障害者リハビリテーション学会
日本ソーシャルワーク学会　日本地域福祉学会　日本福祉介護情報学会
日本福祉教育・ボランティア学習学会　日本福祉文化学会　日本仏教社会福祉学会
日本保育ソーシャルワーク学会　日本保健福祉学会

日本社会福祉系学会連合事務局
日本社会福祉学会事務局内
〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358－5
アカデミーセンター
TEL:03(6824)9385　FAX:03(5227)8631
※2018/11/26 より電話・FAX 番号が変更になりました。
Mail: union-jssw@kokusaibunken.jp
http://jaswas.wdc-jp.com

＜巻末資料＞
①多様性時代における学会による合理的配慮と支援に関する実態調査　結果
②日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

日本社会福祉系学会連合
多様性時代における学会による合理的配慮と支援に関する実態調査　（2019 年）
＜結果概要＞

＜調査目的＞

近年多様なニーズをもちながら研究に従事している人々が増加している。このような多様な状況にある人々の研究活動を支援するために、社会福祉系の学会がどのような合理的配慮・支援を行っている（検討している）のかを明らかにする。

＜調査方法＞

社会福祉系加盟学会（22 学会）に対して、メールにより調査依頼状および調査票を送付し、電子ファイルに書き込むかたちで事務局まで返送してもらった。調査実施時期は 2019 年 7 月～8 月である。

＜調査内容＞

調査は、障がい者、ひとり親家庭、女性、若手、留学生、学生・院生、定年退職者、生活困窮者、被災者、現場実践者、その他（対象を設定しない場合も含む）の各対象ごとに、対象者の資格要件、合理的配慮・支援の具体的内容、実施にむけた検討課題、について記述してもらった。

＜倫理的配慮＞

一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程にしたがって実施した。調査結果の開示にあたっては、特に許可を得ない限り学会名を公表しないことを明記した。本調査の趣旨を書面において説明したうえで、調査票記入用紙の返送をもって同意とみなした。

＜回収状況＞

22 学会のうち、21 学会より回答を得た。

＜主要な調査結果＞

1）合理的配慮・支援を実施している対象は、「学生・院生」が最多であり、17 学会（+検討中 1 学会）であった。続いて「障がい者」 9 学会、「若手」8 学会、「留学生」6 学会（+１学会が検討中)、「現場実践者」 7 学会（+３学会が検討中)、「被災者」 5 学会と続いている。また、「その他」で「育児中の保護者」に対する支援が 4 学会から報告されている。

2）「学生・院生」への支援では、大会費の減免が 10 学会と最も多く、年会費の減免が 2 学会、両者とも減免が 5 学会となっている。

3）「障がい者」に対しては、希望者への大会時の手話、要約筆記などの情報保障のほか、

大会時のバリアフリーのチェックや当事者・家族に対して大会参加費の減免をしている学会がある。

4）「若手」については、年齢に関係なく、研究歴の浅い人であることを資格要件としている学会がみられる。合理的配慮・支援の内容には、ワークショップ、研究助成、学会（奨励）賞などがある。

5）「留学生」に対しては、学生会員と同様の減免をしているところが多いが、就職せずに母国に帰国した留学生について、年会費 1 年分の支払いで 5 年間会員の権利を得られるよう配慮している学会がある。

6）現場実践者では、「準会員」などの資格で年会費を減免している学会があるほか、研究助成金の提供や、「研究報告」と「実践報告」に分けて発表の場を確保するよう配慮している学会もある。また、団体会員を設置しているところもある。

7）「その他」では、「育児中の保護者」である会員に対して、大会時に託児サービスを実施している学会が 4 学会ある。

8）「被災者」では、年会費の減免が 3 学会でなされている。

9）「定年退職者」に対しては、2 学会で年会費の減免／割引が実施されている。

10)「生活困窮者」「被災者」等で「申し出」によって適宜、対応をしている学会がある。

＜課題＞

・おかれている状況が多様であることから、属性カテゴリーなどで一律に配慮するのではなく、研究遂行上の困難やニーズによる配慮が必要ではないかという意見がある。

・小規模であるため、相談があり次第、適宜対応している学会もある。

・属性カテゴリーによって検討中であると回答する学会が多く存在する。

日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

2017 年 5 月 28 日

1．日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的とし、毎年 6 月 1 日～翌年 5 月 31 日の期間において、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する。

2．補助の対象となる講演等の開催にあたっては、大会、シンポジウム、研修会等とし、補助金の額は、一回 5 万円を限度とする。

3．補助金の申請を希望する学会は、所定の「日本社会福祉系学会連合補助申請書」に必要事項を記入し、『大会等プログラム』あるいは『大会等プログラム』（案）※を添えて、当学会連合事務局宛に提出し申し込む。

4．補助金を受ける学会は毎年 5 学会を限度とする。

5．補助金を受ける学会の選定および補助金額は、講演内容や補助を受けた回数などを勘案して、運営委員会で協議し決定する。

6．補助金を受けることが決まった学会は、「日本社会福祉系学会連合旅費精算書」を領収書と共に当学会連合事務局宛に提出する。

7．当学会連合事務局は受理した「旅費精算書」を確認した後、速やかに当該学会が指定する口座に補助金を振り込む。

8．補助金を受けた学会は、大会等の開催後に報告書（報告記事）を提出し、学会連合の広報媒体に掲載、掲示について承諾するものとする。

9．本制度は単年度制度であり、毎年総会前に開催される運営委員会において、決算状況に鑑みて次年度実施の可否を決定する。

１０．この要項を変更するときは、総会の議決を経なければならない。

※募集期間に大会が行われた場合は『大会等プログラム』を、募集期間後に大会等が行われる場合は、『大会等プログラム』（案）を提出してください。

2017 年 11 月 13 日改正

年　　月　　日

日本社会福祉系学会連合補助申請書

学　会　名	
代 表 者 名	
大会等日時	
場　　所	
目　　的	
申　請　額	円
申請額の根拠	

＊大会等プログラム（案）を添えて、ご申請ください。

申請学会名　　学会印

代表者名　　印

連絡先（ご担当者名　　）

連絡先住所

ＴＥＬ：

e-mail：